

えんだより

キラキラ 7月



2020年7月1日
社会福祉法人尚徳福祉会
保土ヶ谷保育園

7月に入り、子どもたちの元気な声がたくさん戻ってきました！気候もすっかり蒸し暑くなり、少し動くだけでたくさん汗をかいている子どもたち。熱中症に気をつけながらこの季節を楽しみたいと思います。梅雨の晴れ間や、気温が少し低めの日などは、お散歩に出かけています。子どもたちは自然が大好きで、「ここにダンゴムシいたよ！」「これはなんという名前の虫かな？」「きれいなお花が咲いているね」と様々な発見をしています。乳児クラスの子どもでも、ダンゴムシが石の下や湿った土のところにいることを知つていて、そこを探します。幼児クラスになると、捕まえた虫の名前を図鑑で調べ、学びに繋げていきます。

桜の木の実をたくさん拾い、それを水の入ったペットボトルに入れ、ジュースを作り、実を潰したほうが、美味しそうなぶどうジュース色になることに気が付きます。その遊びから、保育者は子どもたちが色水に興味を持っていることに気づき、保育の中に色水遊びを取り入れます。「紫になったよー」「オレンジと茶色ができたよ」と、ここにも「遊びから学びへ」繋がっていく姿があります。

先日野菜の苗を植えました。着実に成長しているのですが・・・パプリカが、パプリカになることなく、収穫されてしまいます・・・大きくなってしまっても、パプリカの色になるまでには待たなければいけないのですが、「ピーマンできた！！」と喜んで収穫してしまいます。一度みんなで食べてみましたが、かなり苦い味・・・それでも、「おいしい！」と喜んで食べていました。自分たちで育てた野菜は、どんな野菜でも美味しいようです。

園長 大日方 直美

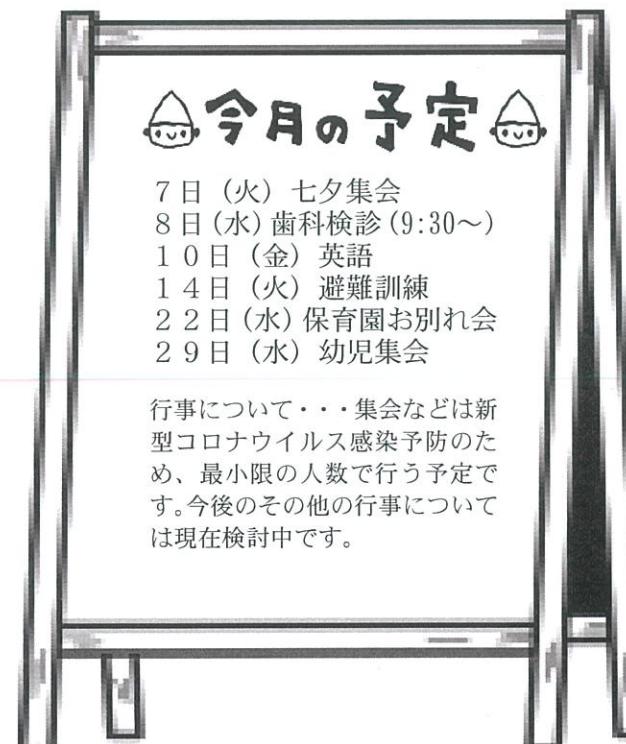


<7月27日（月）から

新園舎での保育になります！！

改築工事も順調に進み、7月23日（祝）24日（祝）25日（土）で引っ越しを行う予定です。25日（土）につきましては、ご家庭での保育にご協力をいただきありがとうございます。休み明けの27日（月）には子どもたちが安全に快適に過ごせるよう、この3日間で頑張りたいと思っています。

玄関は反対側に変わります！！（最終的にはまた今の場所に戻りますが・・・）自転車置き場、ベビーカー置き場、お部屋の場所など、職員がご案内いたします。戸惑うこともあるかと思いますので、時間に余裕を持って登園してください。ご不便をおかけしますがよろしくお願い致します。



保育園での子どもたちの育ち

○入園の際、保護者の皆様に「保育所保育指針」をお配りしたと思います。（水色の薄い冊子）

「保育所保育指針」は厚生労働大臣告示として定められたものです。保育園はこの「保育所保育指針」に基づき、子どもの健康及び安全を確保しつつ、子どもの一日の生活や発達過程を見通し、それぞれの保育の内容を組織的計画的に構成して、保育を実施することになります。

子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を養うために、環境を通して養護及び教育を一体的に行なうことが大切です。



○養護とは・・・子どもの生命の保持及び、情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わりのことです。

○教育とは・・・子どもたちは全て「遊び」から学びます。子どもたちが自分で考え、「これをやりたい！」と自分で選んだ遊びをとことん楽しむ中で、「学びに向かう力」※を育んでいきます。

※「学びに向かう力」「非認知能力」とも表現される。とはIQ（知能指数）等で数値化される認知能力と違い、目には見えにくいもの。目標・意欲・関心を持ち粘り強く仲間と協調して取り組む力や姿勢等を指す。

☆子どもたちは、0歳児から5歳児まで一番大切な時期を保育園で過ごしています。乳児期から子どもたちの気持ちをしっかり受け止め、栄養たっぷりの土を作り、卒園までに、根っことなる「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」へ少しでも近づき、立派な樹木へと成長できるように職員一同頑張っていきたいと思います。